



待ちに待った
校歌が響き渡る

学校のシンボルが決定

公津の杜中学校校歌・校章制定式

昨年4月に開校した公津の杜中学校で「校歌・校章制定式」が、11月30日に行われました。全校生徒と保護者や来賓が見守る中、まず始めに、校章が刺しゅうされた校旗が秋山皓一教育委員長から五十嵐和男校長に手渡されると、大きな拍手が起こりました。来賓の1人で、校章をデザインした西中学校卒業生の小川雅子さん「自分の作品がずっと残っていくと思うとうれしい」と感想を述べました。続いて、同校の菅谷信治教諭が作詞、同校の教諭の知り合いで作曲家の加藤真一郎さんが作曲した校歌を全校生徒502人で合唱。待ちに待った校歌を声高らかに歌い上げ、学校の歴史に新たな1ページを刻みました。



五十嵐校長が校章を披露

武田フミ子さんが受賞

社会福祉事業功労者等知事表彰

武田フミ子さん(江弁須)が社会福祉事業功労者として、知事表彰を受けました。武田さんは平成3年10月に県から委嘱を受けた身体障害者相談員として長年にわたり、成田の福祉の向上に努めてきました。また平成7年4月から現在まで、身体障がいのある人同士の交流を目的に組織されている成田市福祉会の副会長を務め、自身も重度の身体障がいを抱える中で、身体障がいのある人とその関係者の相談に尽力してきたことが評価されました。

表彰状を手にする
武田フミ子さん



円墳など九つの古墳が残る外小代公園を散策

身近な古墳や遺跡を見学

ニュータウン地区歴史ウォーキング

玉造公民館をスタート・ゴール地点として「ニュータウン地区歴史ウォーキング」が12月7日、行われました。参加者13人は、玉造・八代・吾妻地区などの公園や空き地に点在する古墳や遺跡など12カ所を、講師の解説を聴きながら歩いて巡りました。参加者の1人は「いつも通る場所の近くに、遺跡があるとは知らなかった」と話していました。



高座から客席に向かってあいさつ

故郷の成田で晴れ舞台

三遊亭金朝襲名披露独演会

市内出身の落語家・三遊亭金朝さんの真打ち昇進と襲名披露を兼ねた独演会が11月16日、宗吾霊堂で行われました。金朝さんは玉造中学校の卒業生で、応援を続けてきた同級生や地元の住民が準備した晴れ舞台に200人を超えるファンが詰め掛けました。あいさつや本題への導入の枕で早くも客席の笑いをつかむと、「つる」「孝行糖」「^{めかうま}妾馬」の3席を披露。観客は洗練された話芸を楽しみ、会場は笑い拍手で包まれました。

9家族が交流

双子ちゃんあつまれ

双子を持つ親同士で友達づくりをして、育児に役立ててもらおうと、「双子ちゃんあつまれ」が12月1日、子ども館で行われました。参加した0～3歳の双子とその親9組は、手遊びや絵本の読み聞かせで会場の雰囲気慣れすると、親子で自己紹介。その後は、子どもたちがおもちゃで一緒に遊ぶ傍らで、2グループに分かれた親同士が交流。双子を持つ親ならではの悩みを打ち明け合うなど会話が弾みました。交流の終了後には、家族同士で一緒に食事に行ったり、次に会ったりする約束をしていました。



輪になって友達づくり



みんなの前で自己紹介



焼き芋の無料配布を待ち構える来場者

見て食べて楽しむ

大栄ふるさとふれあいまつり

大栄地区の秋の恒例行事である「大栄ふるさとふれあいまつり」が11月23日、日本自動車大学校で開催されました。当日の天候は穏やかな小春日和。会場には大栄地区の名産品などを販売する模擬店が立ち並び、来場者はその味を楽しみました。また、メインステージではヒーローショーなどさまざまなイベントが行われ、会場は終日小さな子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。



仮面ライダーショーに盛り上がる子どもたち